

上田卸団地だより

編集・発行 上田卸商業協同組合 〒386-0041 長野県上田市問屋町510-2 TEL 0268-22-6649 (代) FAX 0268-22-6714
URL : http://www.ueda-oroshi.or.jp/ E-mail : info@ueda-oroshi.or.jp

「まちづくり協定」の進め方

副理事長 高橋 牧尋

やっと春の日差しがまぶしい季節になりました。例年ですと梅の花や早いところでは桜の便りが聞こえる時期ですが、今年例年にならない寒さの為か少し遅れているようです。

私達を取り巻く経済環境は相変わらず冷えており、企業の経営努力では太刀打ちの出来ない外的要因問題にも左右される非常に厳しい状況におかれて居ります。

平成20年に今後の「卸団地のまちづくり」の方向について、外部団体に

再整備の必要性

平成20年に今後の「卸団地のまちづくり」の方向について、外部団体に

創立五十周年に向けて

理事長 丸山 正一

当組合は昭和39年に設立され、再来年で創立50周年の節目を迎えます。

思い返しますと、50年前、上田商工会議所の卸売研究会の例会時に「国が資金を出して問屋の集団化を進めるそうだ」という事を聞き、視察や調査を進め、組合設立の運びになりました。

関係者のご協力

当時、市商工課、商工

関係者の方々はじめ、地元自治会の方々の協力と上田市産業開発公社のご尽力で、土地造成は順調

も参加を頂き「再整備研究会」を発足し、翌年12月に中小企業団体中央会の事業であります「卸商業団地向上支援事業」の認定を受け「再整備委員会」となりました。委員会の中に「ワーキング委員会」を設け、メンバーも増員し2年間余り組合員の皆様からアンケート調査実施などを含め上田卸団地再整備の「実施計画、課題対応策」をまとめ、平成23年2月に「支援事業報告書」を配布いたしました。

まちづくり協定は

その後一年が経過する中で、報告書にも記してありますが「魅力ある団地」「団地の価値を高める」「人・物・情報」のときめき結節点をめざしてとの考えに基づいて、全組合員の皆さんにご理解が得られる様な「上田卸団地まちづくり協定」作りを進めていきたいと考えております。

考え方は、上田卸団地内の協定とし、撤退や土地売買時に於いて最初か

に進みました。

国・県の資金(中小企業高度化資金)の助成を受け、昭和44年3月に一次計画の22社の社屋が完成し、続いて拡張二次計画をスタート、昭和50年に現在の形で45社による上田卸団地が完成しました。

昭和・平成の時代を、半々で過ごした50年は、まさに激動の時代でした。創立以来半世紀が過ぎ、この間流通構造の変化により、当組合の組合員数や業種の内容などが大きく変わっております。

将来を見据えて

このような激動の時代を何とかくぐり抜けて来られたのは先人のご努力によるものであると思います。

創立50周年を迎えるにあたり、時節柄派手なこととは出来ませんが、再来年というとまだ先のことと思われがちですが、一年半の後です。万全の準備をして迎えたいと思います。

半世紀の歩みを記録に残し、関係者の皆さんと

ら組合が関わりを持たせて頂く、新しい企業の誘致に於いて制限権を組合が有する、組合が組合員の情報を把握できるシステム等を考えております。

進め方は、中長期的な展望に立って街づくりを考えて行くので、柔軟な発想が出来る若い人を中心に、理事会とも話し合いながら、卸団地の全組合員の皆さんにご納得頂ける様な「協定」にしたいと思います。

共々創立50周年を祝いたいと思えます。次なる半世紀に向けて、創立時の精神を忘れることなく、共同化と高度化を推進していつて欲しいものです。

4月の理事会や問屋町会に諮り、創立50周年の企画立案をするための特別委員会を発足させるつもりです。特に若い人たちの斬新な発想に期待しております。

本年度、来年度と五十周年に向けて皆様のご協力をお願い申し上げます。

事業委員会

委員長 石森 周一



日頃より組合の事業にご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。流通構造の急速な変化のなかで当委員会の運営方針は、創刊号で丸山理事長が表明されていますように「当団地の卸売り機能の維持向上を目的として新しいまちづくりを目標」にそってまいりたいと考えております。

今年度の事業計画につきましては、共同売り出し事業「大感謝祭」の開催と、自動車燃料を始め各社に共通する物品の共同購入を目論んでおります。大感謝祭につきましては10月に設定しました。流通業界の現況はともすれば問屋無用論まであるなかで、新理事長以下新しい態勢のなかで、上田卸団地の存在価値・機能をアピールできるよい機会と捉えております。

このほか組合員皆様様の率直なご意見ご意向を承りたく、事業運営に反映して参りたいと存じております。

環境委員会

委員長 小林今朝幸



年々環境問題に関心が高まっています。上田市の花の苗、植栽頒布に協賛して花壇の整備を進めていきます。春、秋には組合員・賛助会員のみならず近隣の企業との協力による団地一斉清掃を実施

します。9月1日防災の日、今年は3日に秋和地区の役員の方々と消防第8分団にお願いし、初期消火訓練を実施し、防災意識を高めます。今後の地区と卸団地の振興をはかるための懇談会を続けていきます。

事業計画

- 4月末 ビオラ花手入れ・除草剤散布
- 5月24日 春季一斉清掃
- 6月中旬 夏花苗植栽
- 7・8月 花壇の管理
- 9月3日 初期消火訓練
- 10月初旬 秋季一斉清掃
- 11月下旬 冬花植栽



5月ービオラ満開ー

活性化委員会

委員長 堀 健二



活性化委員会 は、販売交流事業としてお中元とお歳暮の時期に併せて、年2回組合員の会社と従業員にカタログ販売をしています。今年度からは賛助会員の従業員の皆さんへも販売を推

進していきます。また、訳あり市として3年前から組合員・賛助会員及び取引先に出店をして頂き、一般消費者に販売をし、3年間で約4900人の入場者がありました。この訳あり市で消費者に上田卸団地を知っていただくことができ、イメージが上がったと思います。今年も第4回を夏に行なう予定です。今後の活動として、再整備事業推進・研修勉強会の実施をしたいと思

います。委員会としてはお願



委員会の紹介

厚生委員会

委員長 中村 剛



厚生委員会は団地内の組合員の企業で働く社員の皆さんの福利・厚生のために行っています。そのために毎年6回の行事を行っています。ボウリング大会、バスツアー、ソフトボール大会、卓

球大会、春・秋のゴルフコンペを開催して各企業の社員の親睦を深めています。企業と社員の皆さんの協力で毎回盛大に行うことが出来ています。中小企業が一社では出来ないような厚生事業を、協同組合という集合体で行うことが出来るのではないかと考えております。最近の厳しい経済情勢では中小企業が単独で行事を行うことが大変困難な時代になってまいりました。また、団地内企業が減少する中、一層

の努力をして団地活性化に頑張ります。今後多く企業の皆さんの参加を頂き、「参加して良かった」「楽しかった」と言われる様、厚生委員全員で努力して、団地が一致団結出来るよう、親睦を深めてまいります。お願



卸団地企業紹介

株式会社
ユダ

昨年の12月10日に上田卸団地に本社を移転してきました。

弊社は、昭和42年上田市柳町で

ワーキング製品の卸業を主として湯田商店で創業致しました。

その後、業務用の清掃資機材を取り扱い、全国の有名メーカーと代理店契約を結び、東信地域を中心に長野県内全域に営業範囲を拡大してきました。昭和60年『株式会社ユダ』に社名を変更し、平成4年に秋田に移転をしてきました。

その後、衛生管理用資材、ホテルやレストランの厨房用資材等取扱アイテムを増やし、営業エリアも東京、仙台、八戸、秋田と営業所を開設し、8年前には卸団地内にキッチンプロショップ『クックピア』をオープンし、東京の合羽橋商店街のような店作りを目指し頑張っております。

今までの営業経験からお客様が必要としている商品を開発し、アメリカやヨーロッパ、中国などで開発された日本未発売商品を輸入し、日本全国の商社への販売にも力を入れて行きたいと思っております。卸団地内に移転したことで敷地も広くなり、より効率良く仕事出来る環境になったことで、上田卸団地から全国各地に情報を発信して発展していきたいと思っております。

株式会社
ムラタヤ

本社は、東京都千代田区にあり、長野支店、上田支店の三事業所が食品卸事業部として県内、東信、中信、北信をエリアとして営業を行っております。

取扱商品は、砂糖・小麦粉・水飴・澱粉・コーンスターチ・食油・マーガリン・ショートニング・油脂・糖化製品・加糖飴・冷蔵冷凍製品・食品添加物・その他食材の卸として幅広い取り扱いをしております。

上田支店は従業員8人で、全社では100人となります。飲食事業部として、長野駅前に金龍飯店の本店を、他に長野市内に2店舗を中国料理専門店として、営業をしております。

東京都千代田区の本社ビルは、本社事務所以外は、貸しビルとして営業しております。

石森
株式会社

石森株式会社は、呉服商に始まり昭和29年繊維製品の卸商として創業致しました。その後、冠婚葬祭の

贈答品を取り扱い、タオルから金物・陶器にいたるまで取り揃え、総合ギフト商社への道を歩み、長年日本の贈答文化、地域の贈答文化を支えて参りました。今日ギフト業界も成長期から成熟期へ、量から質へ転換期に入り、ニーズの細分化・多様性が求められています。

贈り物とは何か。それは贈る楽しみと贈られる楽しみの共有“モノコミュニケーション”贈り物の原点です。従来の商品を物として流通させる単一方向の卸機能から贈り物の原点を見据えたモノ・コトの新たな双方向の機能を創造し、地域のお客様ばかりでなく地域の生産者の方たちと手を取り合い、地域産業の活性化(共存共栄)につながるプラットフォーム(新たな機能)になることがあるべき姿ではないかと考えます。

私たちの企業使命 作り手(生産者)と買い手・使い手(お客様)を「結ぶ」役割を果たし、地域の良きモノ・コトを多くの方々に知っていただき、発見や感動を与えること。それが私たちの理想のカタチです。

株式会社
伊藤商会

株式会社伊藤商会は、1903年(明治36年)に株式会社として創業以来、進取の精神を発揮して時代の要請に応える事業領域への発展をはかって参りました。

弊社は創業109年を迎える現在、全9社からなる伊藤商会グループを形成しております。

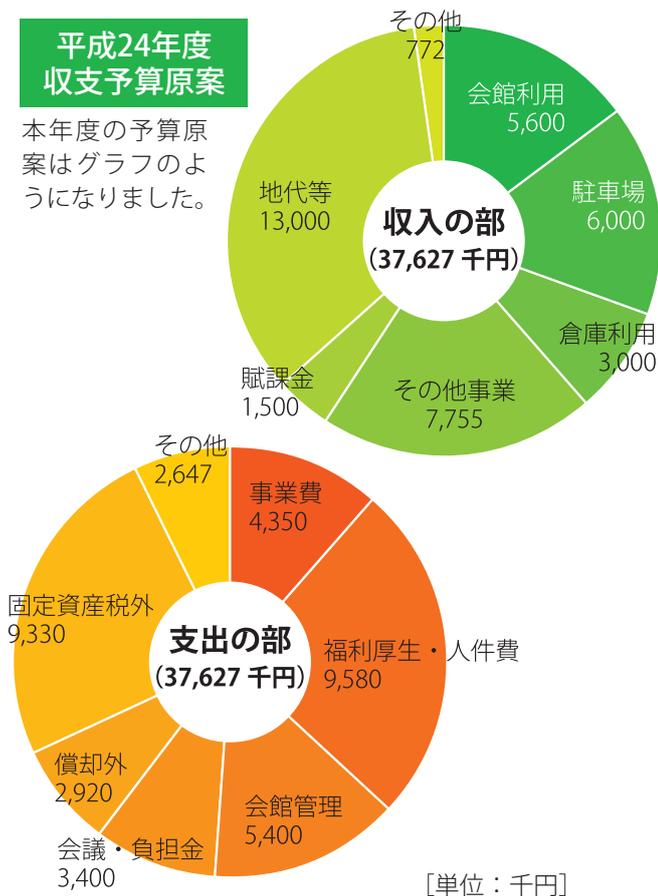
グループの事業内容は、日産自動車、ブリヂストンタイヤをはじめとする幅広い自動車関連事業、とりわけ親会社である株式会社伊藤商会の位置付けは、事業持株会社として、創業以来事業の柱である肥料販売、5店舗からなるガソリンスタンドの運営等の事業領域と伊藤商会グループ全体の共通業務を受託するシェアードサービスセンターの管理領域に分けられます。

ここ数年、需要・競争・収益構造が著しく変化する中で当社、並びに当グループも厳しい環境下にございますが、今後とも地域のお客様に信頼され愛される伊藤商会であるためにも、最適な商品と最高のサービスの提供が重要と考えます。引き続きご愛顧ご支援の程、お願い申し上げます。



**平成24年度
収支予算原案**

本年度の予算原案はグラフのようになりました。



平成24年度の行事予定をお知らせします

行 事	月 日	場 所	担当委員会
春季健康診断	4月17日(火) 18日(水)	組合会館	厚生
新入社員歓迎会	4月13日(金)	組合会館	理事会
通常総会	5月17日(木)		
春季ゴルフコンペ	5月20日(日)	浅間高原CC	厚生
春季一斉清掃	5月24日(木)	団地内全域	環境
バスツアー	6月3日(日)	白樺・柵池高原	厚生
夏花苗植栽	6月中旬	団地内花壇	環境
訳あり市	7月1日(日)	組合会館	活性化
ボウリング大会	7月10日(火)	プラザボール	厚生
初期消火訓練	9月3日(月)	駐車場	環境
秋和自治会懇談会	9月3日(月)	組合会館	理事会
ソフトボール大会	9月9日(日)	運動公園	厚生
大感謝祭	10月4日(木) 5日(金)	組合会館	事業
秋季ゴルフコンペ	10月14日(日)	未定	厚生
秋季一斉清掃	10月中旬	団地内全域	環境
秋季健康診断	10月下旬	組合会館	厚生
冬花苗植栽	11月中旬	団地内花壇	環境
卓球大会	3月5日(火)	組合会館	厚生

「災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定」

当組合では長野県と上田市との間で下記趣旨の協定書を締結しています。

締結先：長野県 平成8年6月1日・上田市 平成22年1月26日

〈趣 旨〉 災害時等において、県(市)が上田卸商業協同組合(以下組合)と協力して、物資を迅速かつ円滑に被災地へ供給するものとする。

〈供給の要請〉 災害時において、調達可能な物資の供給について協力を要請し、組合は可能な範囲において、物資の供給を実施するものとする。

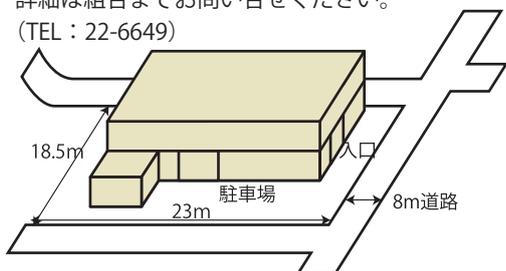
〈物資の種類〉	食料品	衣料品	日用品	食器類	救急用品	燃料
	缶詰、飲料、牛乳、粉ミルク、カップ麺、レトルト食品	普段着、婦人服、子供服、作業着、下着類、軍手、靴下、さらし、毛布、布団	雨具、タオル、紙おむつ、生理用品、石鹸、洗剤、歯ブラシ、ティッシュ、トイレトペーパー、バケツ、マッチ、懐中電灯、乾電池、ローソク、カセットボンベ、カイロ、蚊取り線香	鍋、釜、やかん、飯ごう、包丁、まな板、皿、茶碗、はし、ほ乳瓶	包帯、ガーゼ、絆創膏、止血剤、鎮痛剤、消毒剤、三角巾	ガソリン、軽油、灯油、木炭

〈費用の負担〉 物資の供給に要した費用は、組合の請求により、県(市)が支払うものとする。

〈情報交換〉 平常時から相互の連絡体制及び物資の供給等について情報交換を行い、災害時に備えるものとする。

【不動産情報】 空き物件のご案内

事務所：問屋町495（卸会館の北隣）
 ・鉄骨造 2F建て ・土地 約426㎡、建物延 489㎡
 価格：賃貸あるいは売却等相談に応じます。
 詳細は組合までお問い合わせください。
 (TEL：22-6649)



制度融資のご案内

代表的なものをご紹介します。詳しくは組合又は問合せ先へ

種 類	限度額[千円]	利 率	期 間	条 件 等	問 合 せ 先
マル経	15,000	1.85%	7~10年	従業員5人以下・ 利子補給有	会議所
金融公庫	48,000	2.15%	5~10年	運転・設備共 据置あり	会議所
長野県	50,000	2.3%	5~7年	運転・設備共 据置あり	金融機関
上田市	20,000	2%	7~9年	不況対策資金	金融機関

貸付条件は平成24年3月現在のものです。